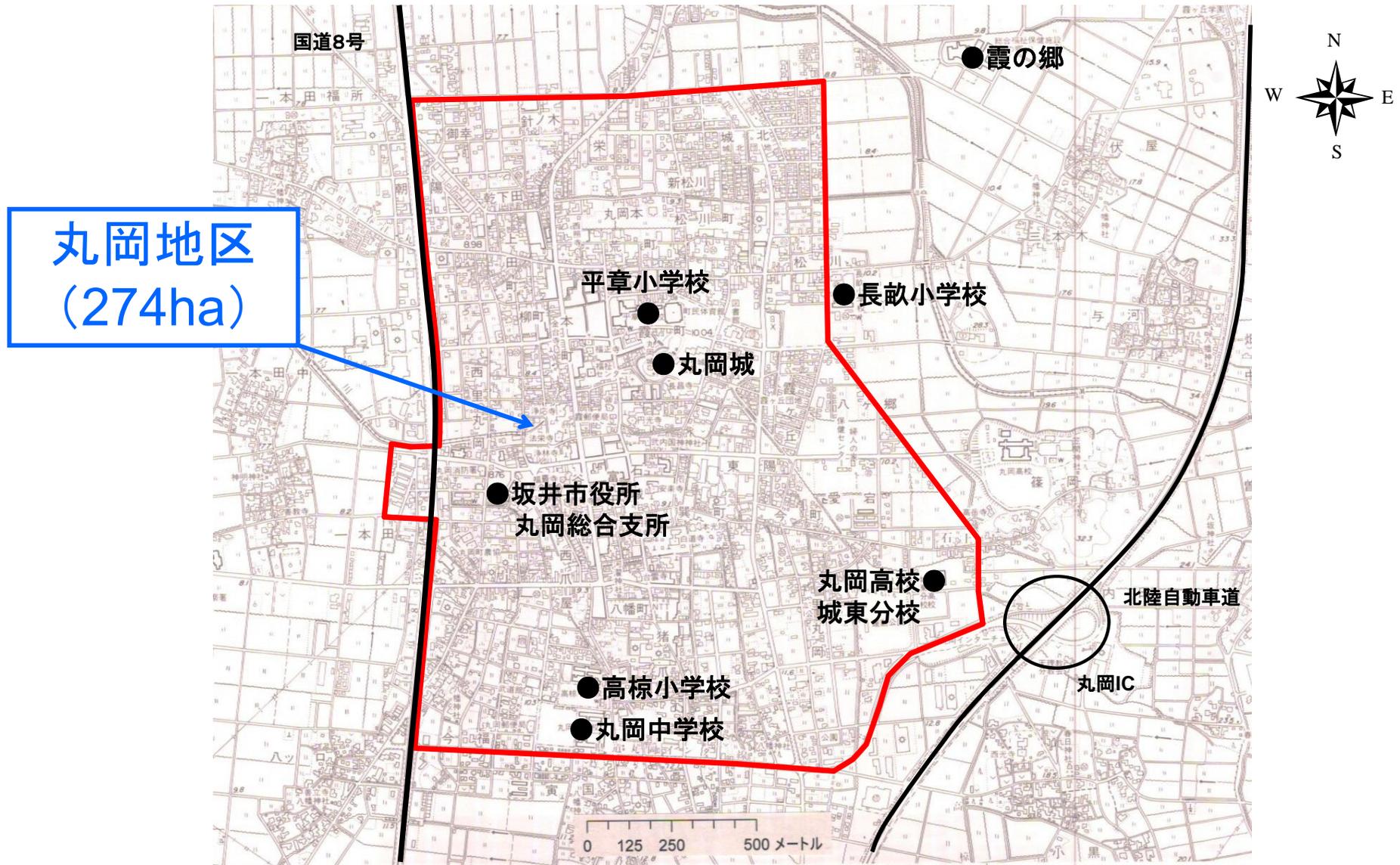


坂井市丸岡地区

都市再生整備計画 事後評価

丸岡地区、 都市再生整備計画の概要

1. 丸岡地区の位置・状況

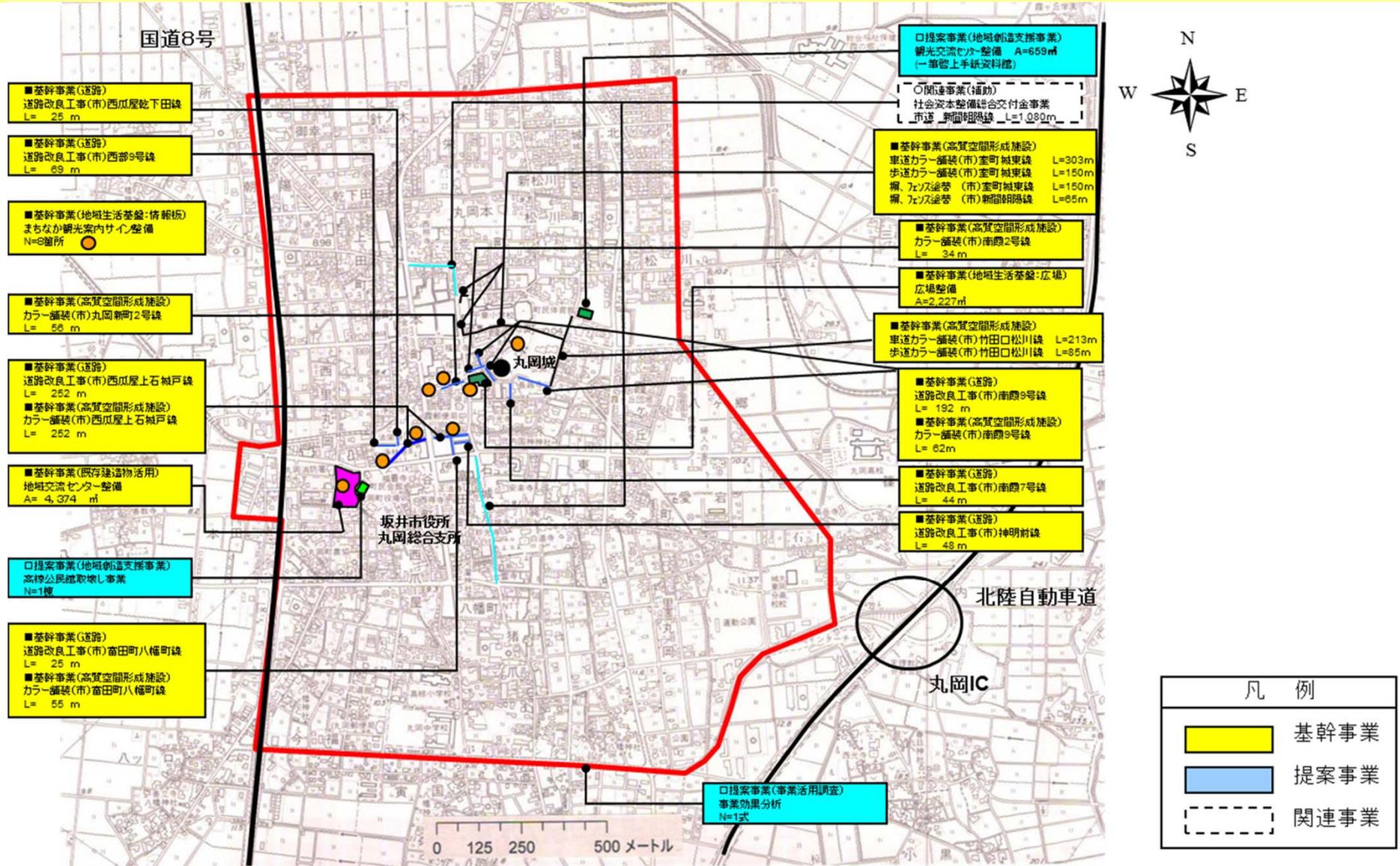


●地区の課題

- ・城下町のまちなか観光に取り組む上で、魅力ある観光スポットの創出、観光拠点に磨きをかけるとともに、観光客が近隣の商店街を回遊できるルートの整備が必要である。
- ・地域活力向上のため、地域住民交流の中心となる交流施設が必要である。
- ・地域の観光・地域交流の拠点を結ぶ動線の確保が必要である。
- ・観光客及び地域住民が安心快適に歩行できるように地域内の道路等を整備することが必要である。

2. 都市再生整備計画の概要

目標 丸岡地区のシンボルである丸岡城を活かしたにぎわいのあるまちづくり



基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容
① 道路	市道西瓜屋上石城戸線	12.0	延長252m	9.0	延長252m
②	市道富田町八幡町線	3.0	延長55m	1.0	延長25m
③	市道南霞9号線	2.0	延長57m	8.9	延長192m
④	市道南霞7号線	-	-	1.3	延長44m
⑤	市道神明前線	-	-	2.5	延長48m
⑥	市道西部9号線	-	-	4.0	延長69m
⑦	市道西瓜屋乾下田線	-	-	1.4	延長25m
⑧ 地域生活基盤施設	お天守前広場	145.0	1,900㎡	202.0	2,227㎡
⑨	まちなか観光案内サイン	24.0	8箇所	24.0	8箇所
⑩ 高質空間形成施設	市道西瓜屋上石城戸線等	40.0	-	162.6	-
⑪ 既存建物活用事業	地域交流センター	411.0	改修延床面積4,707㎡(地域交流センター+共用部)	567.9	改修延床面積4,374.13㎡(地域交流センター+共用部)

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容
⑫ 地域創造支援事業	高棟公民館取壊し	28.0	延床面積1,590㎡	28.4	-
⑬	観光交流センター (一筆啓上手紙資料館)	-	-	290.0	延床面積659㎡
⑭ 事業活用調査	事業効果分析	5.0	-	5.0	-

合計

670百万円(9事業)

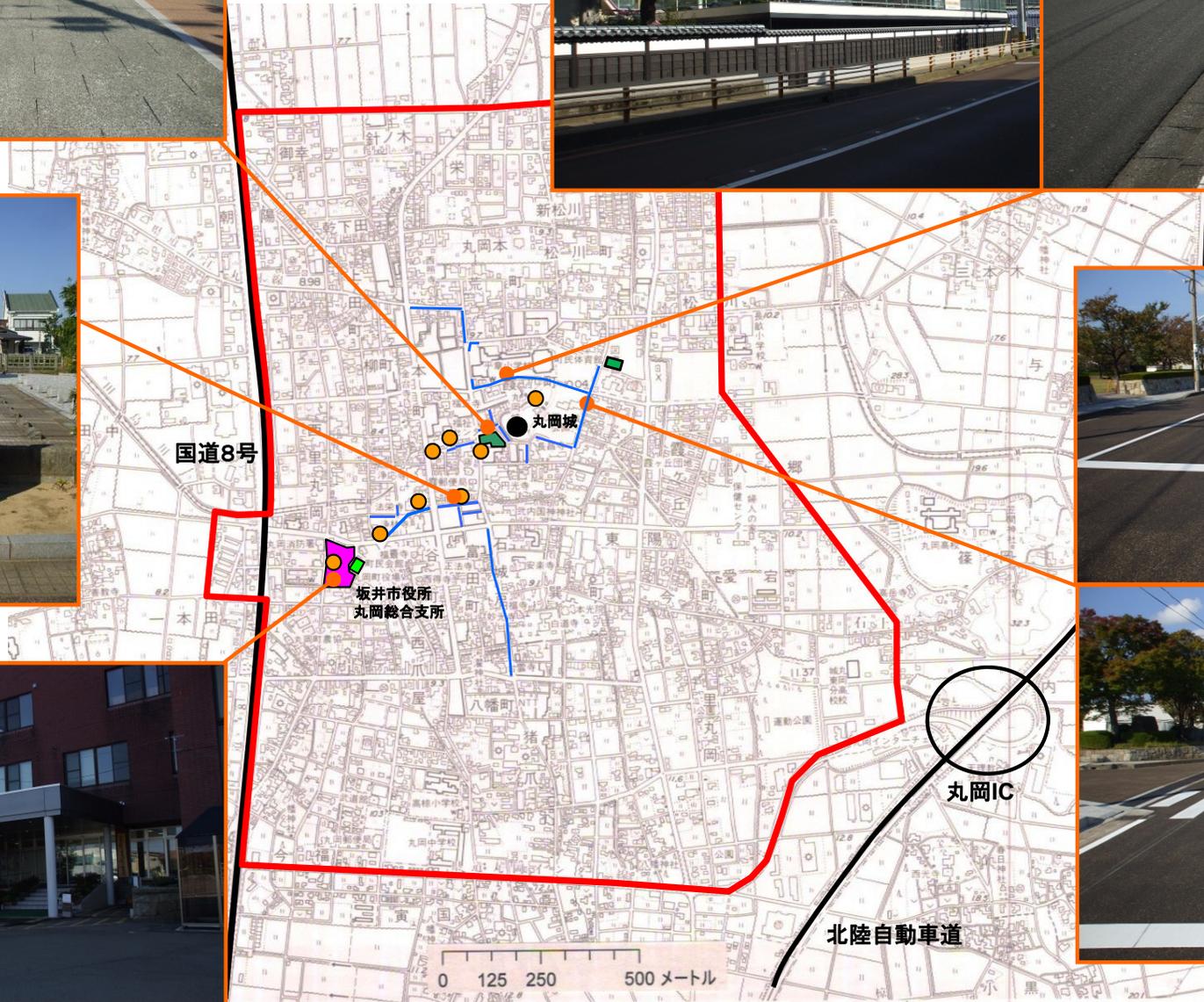
1,308百万円(14事業)

●事業費について

完了分	91%	H27年度分	9%
-----	-----	--------	----

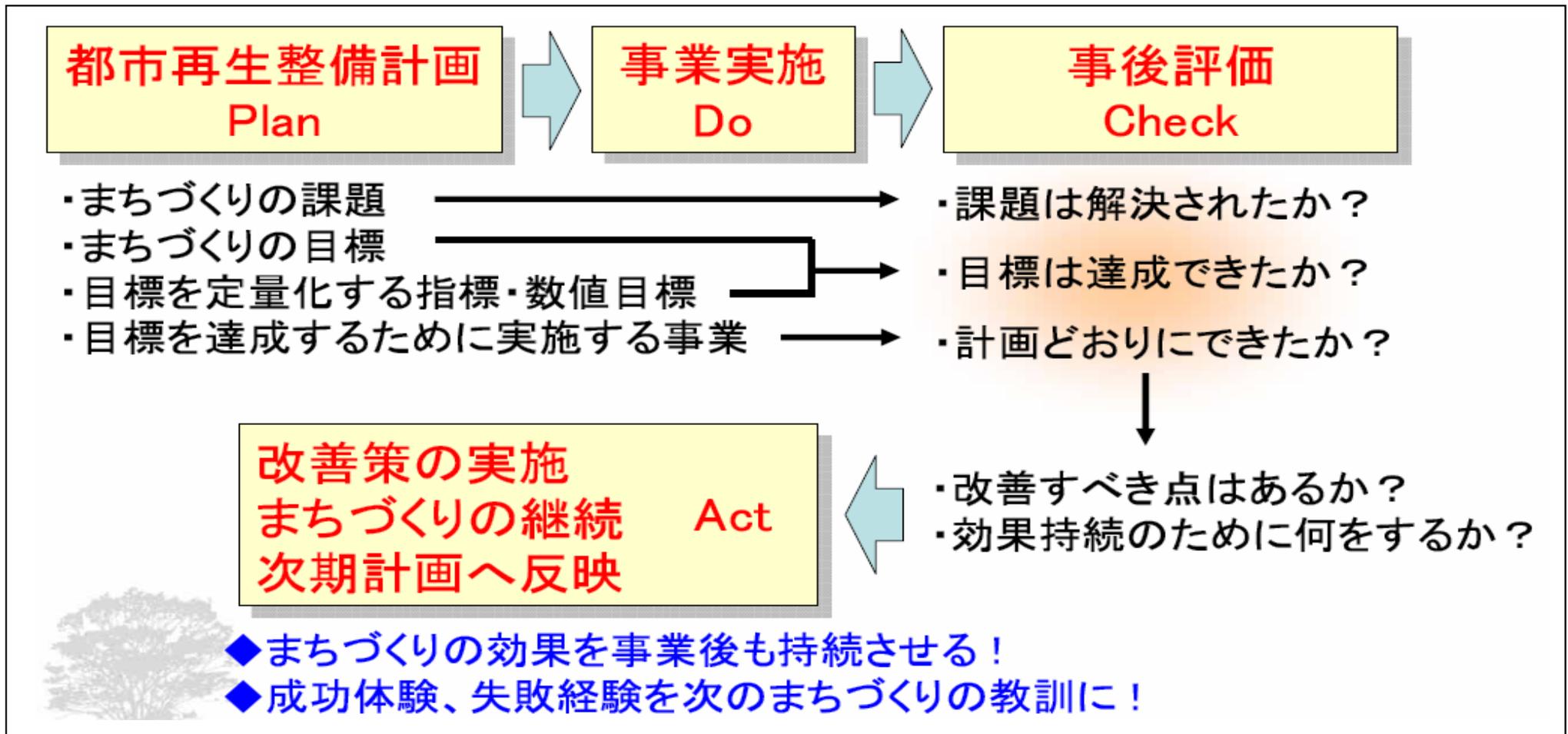
	当初計画		最新状況	
	事業番号 (前頁参照)	事業費	事業番号 (前頁参照)	事業費
指標1 丸岡城を訪れる観光客数[人/年] (従前値:319,700 目標値:333,700 評価値:345,600)	⑧⑨⑩⑭	106百万円 (16%)	⑧⑨⑩⑬⑭	341百万円 (26%)
指標2 地域交流センターの利用回数[回/年] (従前値:2,007 目標値:2,340 評価値:3,300)	⑪⑫⑭	441百万円 (66%)	⑪⑫⑭	598百万円 (46%)
指標3 丸岡城周辺まちなかの歩行者等数[人・台/日] (従前値:218 目標値:273 評価値:303)	①②③⑧⑨ ⑩⑭	123百万円 (18%)	①②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨⑩ ⑬⑭	369百万円 (28%)
合 計		670百万円 (100%)		1,308百万円 (100%)

～ 完成後の姿 ～



事後評価手続きと 今後のまちづくり方策

1. 事後評価制度の概要



委員会の役割

- ①事後評価の手続きや達成状況の検証に関する審議
- ②今後のまちづくり方策等に関する審議

2. 成果計測のルール

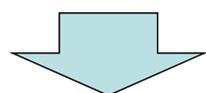
- ・都市再生整備計画に掲げた指標の目標達成度について確認(評価基準日=H27.3.31)
- ・現時点で目標を達成していない指標について、**今後1年以内の達成見込み**を確認

評価の基準	達成度
目標値を上回った場合	○
目標値には達していないが近年の傾向より改善している	△
目標値に達しておらず近年の傾向よりも改善がみられない	×

※達成度の判定については、国土交通省が定めたルールであり、評価値が目標値を上回った場合は「○」、評価値が目標値には達していないが従前値を上回った場合は「△」、評価値が目標値及び従前値に達していない場合は「×」、とすることとなっています。

3. 目標を定量化する指標の達成状況

目 標	丸岡地区のシンボルである丸岡城を活かしたにぎわいのあるまちづくり
------------	----------------------------------



目標の達成状況を3つの指標でチェック！

指標	従前値	目標値	評価値	達成度
1. 丸岡城を訪れる観光客数(人/年)	319,700	333,700	345,600	○ ※
2. 地域交流センターの利用回数(回/年)	2,007	2,340	3,300	○ ※
3. 丸岡城周辺まちなかの歩行者等数(人・台/日)	218	273	303	○ ※

目標値 の設定

指標1: 約4%増とする目標を設定。

指標2: 約16%増とする目標を設定。

指標3: 約25%増とする目標を設定。

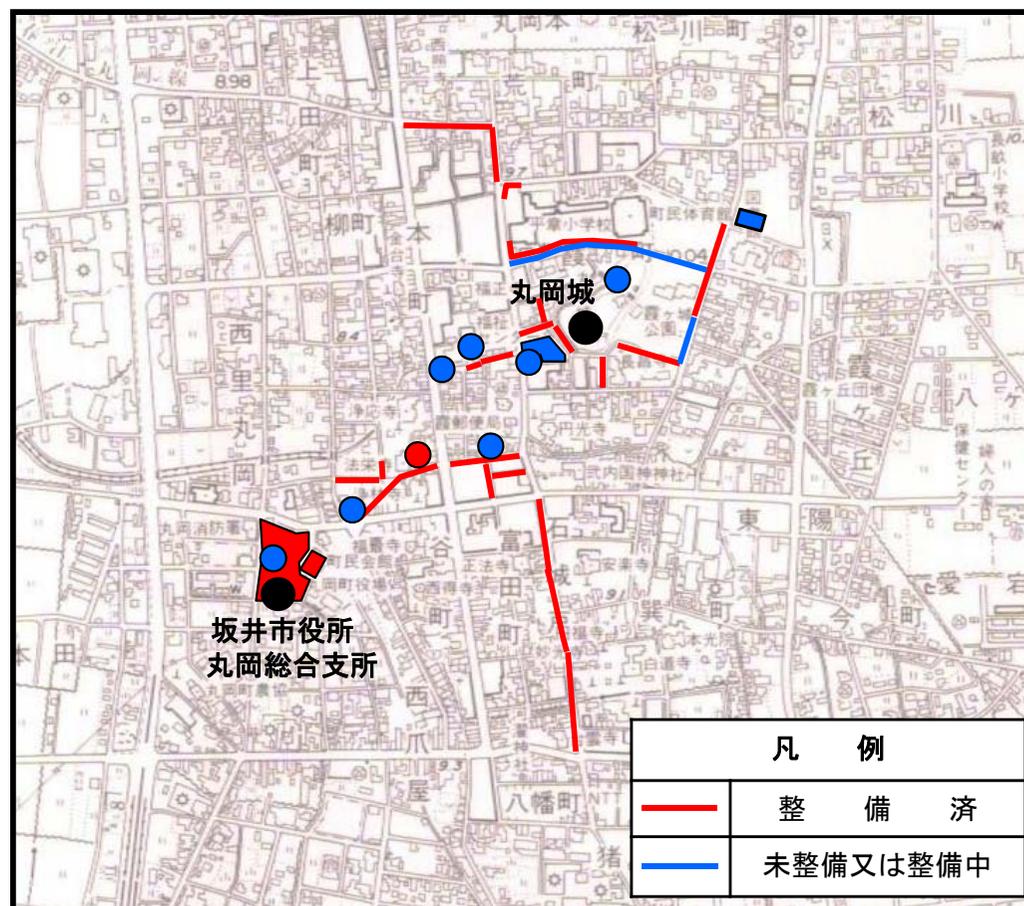
※: フォローアップあり

指標1：丸岡城を訪れる観光客数(人/年) ※フォローアップあり

従前値	目標値	評価値	達成度	達成見込
319,700	333,700	345,600	○	—

・工事中のお天守前広場・まちなか観光案内サイン・道路美装化を含め、都市基盤の整備・高質化に伴って、観光地としての環境が向上したため、目標を達成できた。

・一方、観光地としてのPR強化等の効果による部分も大きいものと考えられる。



【効果発現要因の分析】

事業名・箇所名		影響度 ※	指標の改善に及ぼした影響(効果発現要因)
基幹事業	市道西瓜屋上石城戸線	—	
	市道富田町八幡町線	—	
	市道南霞9号線	—	
	市道南霞7号線	—	
	市道神明前線	—	
	市道西部9号線	—	
	市道西瓜屋乾下田線	—	
	お天守前広場	△	・丸岡城と一体的な雰囲気をもつ憩いの場の創出によって、観光資源の一つとなることが期待される(整備中)。
	まちなか観光案内サイン	△	・丸岡城以外にも観光面の魅力があることをPRすることで、丸岡城への観光客・リピーターの増加につなげることが期待される(整備中)。
	高質空間形成(道路の 美装化)	△	・まち一帯の歴史的雰囲気をも高め、丸岡城を中心とする観光地としての魅力を向上させることによって、観光客の増加につなげることが期待される(整備中)。
地域交流センター	—		
提案事業	高棟公民館取壊し	—	
	観光交流センター(一筆 啓上手紙資料館)	△	・全国的にも知名度のある「日本一短い手紙」をテーマとする観光交流センターを整備することによって、近接する丸岡城への観光客増加に寄与することが期待される(整備中)。

※影響度(国土交通省が定めたルールに基づくもので、「達成度」とは記号が同じであっても意味が異なります)

◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。 △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
○ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。 (又は、事業が完了していない)

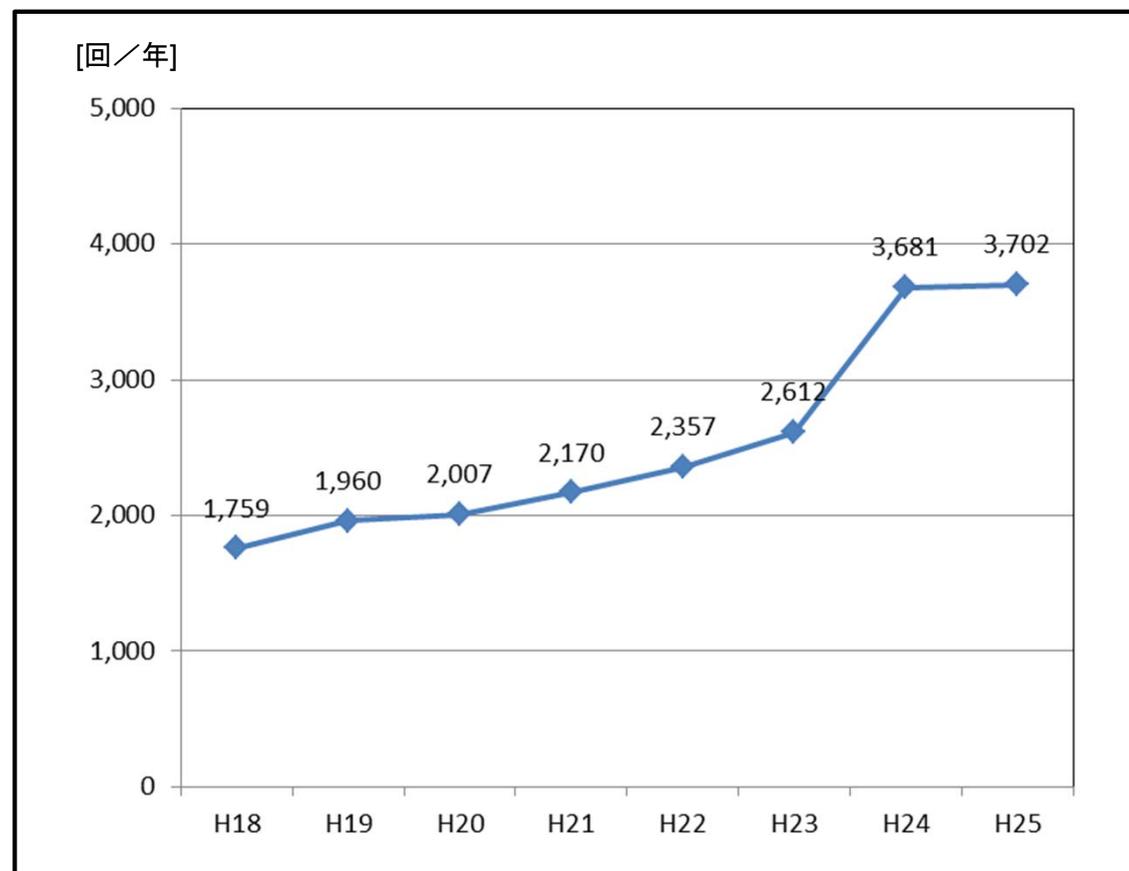
— : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

指標2: 地域交流センターの利用回数(回/年) ※フォローアップあり

従前値	目標値	評価値	達成度	達成見込
2,007	2,340	3,300	○	—

・都市再生整備計画事業の進捗に伴い、徐々に利用回数は増加していたが、新たに地域交流センターを整備したことによって、飛躍的な増加が見られる。

・また、高椋公民館跡地を駐車場としたことも増加の要因と考えられる。



【効果発現要因の分析】

事業名・箇所名		影響度 ※	指標の改善に及ぼした影響(効果発現要因)
基幹事業	市道西瓜屋上石城戸線	—	
	市道富田町八幡町線	—	
	市道南霞9号線	—	
	市道南霞7号線	—	
	市道神明前線	—	
	市道西部9号線	—	
	市道西瓜屋乾下田線	—	
	お天守前広場	—	
	まちなか観光案内サイン	—	
	高質空間形成(道路の 美装化)	—	
	地域交流センター	◎	
提案事業	高棕公民館取壊し	◎	・跡地を地域交流センターの駐車場として活用し、利便性が向上したことによって、利用促進につながった。
	観光交流センター(一筆 啓上手紙資料館)	—	

※影響度(国土交通省が定めたルールに基づくもので、「達成度」とは記号が同じであっても意味が異なります)

◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。 △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。

○ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。 (又は、事業が完了していない)

— : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

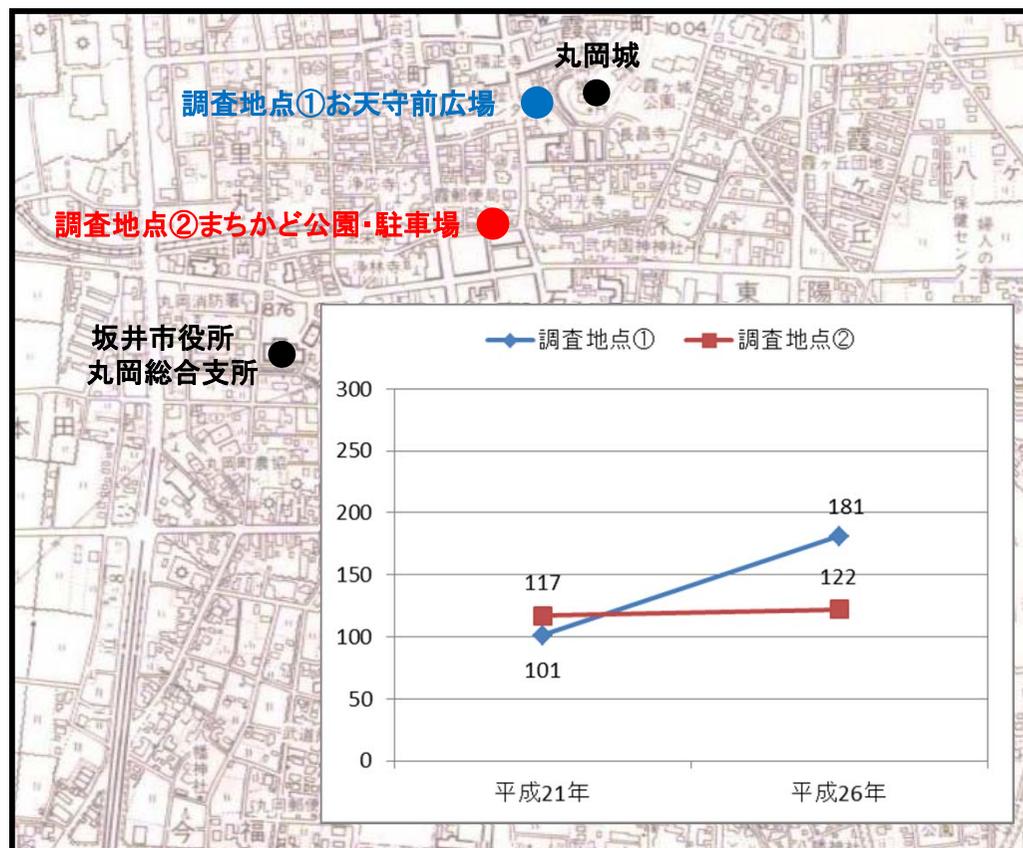
指標3：丸岡城周辺まちなかの歩行者等数(人・台/日)

※フォローアップあり

従前値	目標値	評価値	達成度	達成見込
218	273	303	○	—

・まちなかの散策環境が高まったことによって、丸岡城周辺まちなかを散策する人が増加した。

・特に、丸岡城に隣接するお天守前広場付近で大きく増加していることが分かる。



【効果発現要因の分析】

事業名・箇所名		影響度 ※	指標の改善に及ぼした影響(効果発現要因)
基幹事業	市道西瓜屋上石城戸線	◎	・道路の拡幅・側溝整備によって、安心して歩ける環境が高まったため、まちなかの歩行者等の数が増加した。
	市道富田町八幡町線	◎	
	市道南霞9号線	◎	
	市道南霞7号線	◎	
	市道神明前線	◎	
	市道西部9号線	◎	
	市道西瓜屋乾下田線	◎	
	お天守前広場	△	・まちなみ景観やまち歩きの高まることによって、まちなかを回遊する人の増加につなげることが期待される(整備中)。
	まちなか観光案内サイン	△	
	高質空間形成(道路の 美装化)	△	
地域交流センター	—		
提案事業	高椋公民館取壊し	—	
	観光交流センター(一筆 啓上手紙資料館)	△	・全国的にも知名度のある「日本一短い手紙」をテーマとする観光交流センターを整備することによって、当施設や丸岡城を主目的に周辺部を回遊する人の増加につなげることが期待される(整備中)。

※影響度(国土交通省が定めたルールに基づくもので、「達成度」とは記号が同じであっても意味が異なります)

◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。 △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。

○ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。 (又は、事業が完了していない)

— : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

4. 実施過程の評価

住民参加プロセスの実施状況

・まちづくり協議会と市との協議の場を持ちながら施設整備を進めたことによって、ニーズに合った施設ができ、数値目標の達成につながった。

・広報による啓発活動を行ったことによって、まちづくり活動に参加する地域住民の増加や活動の充実につながった。



●事後評価への庁内関係各課協議結果の反映

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
丸岡地区事後評価庁内検討会議	関係各課職員(都市計画課、建設課、生涯学習スポーツ課、文化課、観光産業課、まちづくり推進課、丸岡地域振興課)	●期間中1回の会議を実施 実施日:平成26年12月1日 ●その他、メール等にて意見交換を実施	建設部都市計画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
魅力ある観光スポットの創出、 観光拠点の魅力向上、近隣商店街までの回遊性の確保	周辺市街地を歴史が感じられるまちなみとして整備したことによって、観光拠点である丸岡城の魅力が向上した。また、道路拡幅や側溝整備によって安心して歩ける環境が整ったため、回遊性の確保も実現された。	・魅力ある観光スポット(一筆啓上手紙資料館)の創出 ・お天守前広場の多目的スペース等を活かしたイベントや地域交流の企画等 ・個々の店舗オーナーによる商店街の活性化に繋がる企画・仕掛け等	・丸岡城周辺で行われるイベント時の駐車場の確保
地域住民の交流の中心となる場の創出	高椋公民館をリニューアルして地域交流センターを整備したことによって、地域住民の交流の中心となる場が創出された。	・地域交流センターの利用促進による、地域住民の交流機会の増加 ・お天守前広場の多目的スペース等を活かした地域交流の企画等	
地域の観光・交流拠点を結ぶ動線の確保	一体的なまちづくり計画に基づいて、都市基盤および施設の整備を進めたことによって、地域の観光・交流拠点を結ぶ動線が確保された。	・まちなかの回遊性向上につながる案内表示の促進	
道路歩行安全性の向上	道路拡幅・側溝整備により歩行空間が拡大したことに加え、道路の美装化によって視認性も高まり、道路の歩行安全性が向上した。		

●事後評価(原案)の公表(1/15~1/28)

都市再生整備計画事業の事後評価(原案) 皆さんの意見を募集します

●問い合わせ 都市計画課 ☎50-3050

丸 岡地区都市再生整備計画(平成22年度から平成26年度の5年間)に基づく数値目標の達成状況などを整理し、事業の成果を客観的に検証するために、皆さんの意見を募集します。

事後評価は、今後のまちづくりのあり方を検討することや事業の成果をわかりやすく説明することを目的としています。

募集期間 1月15日(木)~28日(水)

閲覧場所 市ホームページ、都市計画課

意見の提出方法 住所と氏名を明記して、持参、郵送、FAX、メールで提出してください。様式に定めはありません

提出先 ☎67-17522
✉ keikaku@city.fukui-sakai.jp

広報

The screenshot shows the Sakai City Official Website with a navigation menu and a main content area. The page title is "丸岡地区都市再生整備計画事業の事後評価(原案)について". The content includes sections for "事後評価の目的", "事後評価の時期", "案件名", "募集期間", and "閲覧方法".

市ホームページ

その他、市担当課窓口で縦覧

●事後評価への住民の意見の反映

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに原案を掲載	平成27年1月13日～28日 (約2週間)	平成27年1月13日～28日 (約2週間)	都市計画課への持参、 電子メール、FAX、郵送 等による書面提出 (電話、口頭による受付 は不可、任意書式と し、郵送については締切 日当日の消印まで有効と する。)	建設部都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	市広報誌に市のホームページに 原案を公表している旨を掲載	平成27年1月15日号	平成27年1月15日～28日 (2週間)		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	都市計画課窓口に備付け	平成27年1月15日～28日 (2週間)	平成27年1月15日～28日 (2週間)		

住民の意見	<p>今回は特に無かったが、事後評価結果の公表時の意見を踏まえて、今後のまちづくりに活かしていく。 (ホームページ意見募集閲覧数70件、都市計画課窓口閲覧数0件)</p>
-------	---

●事後評価への評価委員会審議結果の反映

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	福井工業大学 内村雄二教授	平成27年3月17日	都市計画課	坂井市まちづくり交付金 評価委員会設置要綱	都市計画審議会
その他の委員	有識者、市議会議員、まちづくり協議会 計5名				

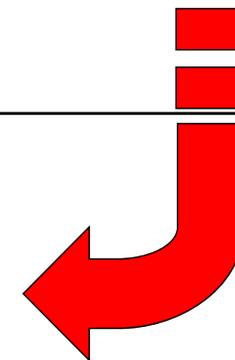
審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・適切に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・適切に実施されたことが確認された。
	実施過程の評価	・委員会は複数回開催したほうが良い(特に事業当初に1回することが有効と考えられる)。 ・住民の意見を取り入れるための工夫が必要である(約2週間の原案の公表・パブリックコメント募集だけでは効果が低い)。 ・住民参加による継続的なまちづくり活動の実施によって、地域住民の満足度が高まっている。
	効果発現要因の整理	・事業の効果が充分にあったにも関わらず、事業が完了していないために影響度が△となることに対しては、感覚的には違和感を感じる。 ・「丸岡城を訪れる観光客数」「丸岡城周辺まちなかの歩行者等数」に関しては、実際には他事業等のソフト的な取り組みの影響も大きく関わっているものと考えられる。
	事後評価原案の公表の妥当性	・公表期間(約2週間)が短いように感じる。
	その他	・今後のまちづくり活動の継続やまちの環境向上を念頭に置いて、「残された未解決の課題」の再検討・充実を図った方が良い。 ・原案公表時以外にも、事後評価事業以外の会議等も活用しながら、丁寧に市民の意見を聞きながら事業に反映させていった方が良い。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・もう少し、地域住民の素朴な意見を踏まえた方策が挙げられると良いように感じる。
	フォローアップ	・適切に効果を確認するため、出来る限り計測時の条件を合わせた方が良い。
	その他	・添付様式6「次期計画や他地区への活かし方」の「住民参加・情報公開」「PDCAによる事業・評価の進め方」については、もう少し具体的に記載した方が良い。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に対して、各指標の達成のためにどれだけの費用がかかっているのかについても分かりやすく知らせるべきである。 ・地域交流センターの整備については、実際の利用者である地域住民の意向を十分に反映させたため、満足度の高いものとなった。 ・パブリックコメント募集の際には、アクセス数をカウント出来るようにした方が良い(アクセスが無いのか、アクセスされた上で意見が無いのか分からないため)。 ・今後もまちづくり活動を継続していくために、住民主体の検討の場づくり等に対して行政からの支援が欲しい。 	

5. 今後のまちづくり方策

事業前の課題 都市再生整備計画に 記載したまちの課題	達成されたこと (課題の改善状況)	残された未解決の課題 新たな課題
魅力ある観光スポットの創出、観光拠点の魅力向上、近隣商店街までの回遊性の確保	周辺市街地を歴史が感じられるまちなみとして整備したことによって、観光拠点である丸岡城の魅力が向上した。また、道路拡幅や側溝整備によって安心して歩ける環境が整ったため、回遊性の確保も実現された。	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある観光スポット（一筆啓上手紙資料館）の創出 ・お天守前広場の多目的スペース等を活かしたイベントや地域交流の企画等 ・個々の店舗オーナーによる商店街の活性化に繋がる企画・仕掛け等 ・丸岡城周辺で行われるイベント時の駐車場の確保
地域住民の交流の中心となる場の創出	高椋公民館をリニューアルして地域交流センターを整備したことによって、地域住民の交流の中心となる場が創出された。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センターの利用促進による、地域住民の交流機会の増加 ・お天守前広場の多目的スペース等を活かした地域交流の企画等
地域の観光・交流拠点を結ぶ動線の確保	一体的なまちづくり計画に基づいて、都市基盤および施設の整備を進めたことによって、地域の観光・交流拠点を結ぶ動線が確保された。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの回遊性向上につながる案内表示の促進
道路歩行安全性の向上	道路拡幅・側溝整備により歩行空間が拡大したことに加え、道路の美装化によって視認性も高まり、道路の歩行安全性が向上した。	

★今後のまちづくり方策★

- ・地域独自の特徴を生かした文化と歴史を融合した新しい観光スポットの整備や、イベント・企画の促進を図る。
- ・地域コミュニティの強化を図りながら、住民主体のソフト施策の実施によって、観光地としての魅力的な環境創出や地域住民の交流促進、回遊性の向上等の効果の持続や課題解決を図る。



6. 今後のスケジュール

	12月	1月	2月	3月	4月
坂井市 評価結果 のまとめ 事後評価シート の取りまとめ	庁内検討会	原案の公表		評価委員会	結果の公表
国 事後評価 のチェック				報告	技術的助言